

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 8 月 11 日 (2005.8.11)

【公開番号】特開 2003-231806 (P2003-231806A)

【公開日】平成 15 年 8 月 19 日 (2003.8.19)

【出願番号】特願 2002-33494 (P2002-33494)

【国際特許分類第 7 版】

C 0 8 L 71/12

C 0 8 K 5/3467

C 0 8 L 67/03

【F I】

C 0 8 L 71/12

C 0 8 K 5/3467

C 0 8 L 67/03

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 1 月 24 日 (2005.1.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

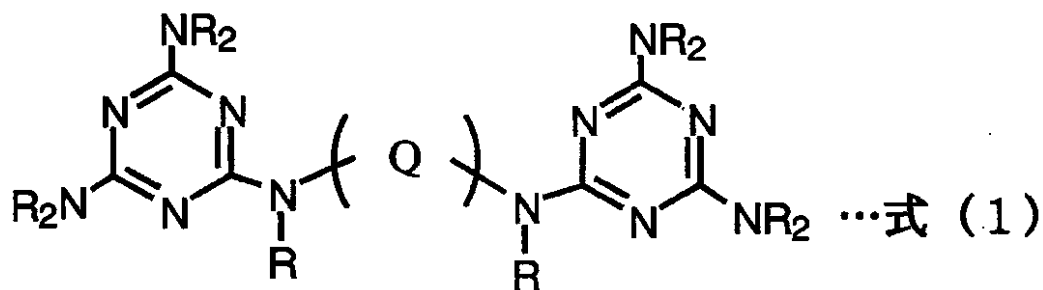
【請求項 1】

(a) ポリフェニレンエーテル系樹脂 30 ~ 99 重量部と、(b) 液晶ポリエステル 70 ~ 1 重量部とからなる樹脂成分 100 重量部に対して、(c) メラミン誘導体 0.1 ~ 10 重量部を配合することにより得られるポリフェニレンエーテル系樹脂組成物。

【請求項 2】

メラミン誘導体が以下の式 (1) の構造を有することを特徴とする請求項 1 に記載の ポリフェニレンエーテル系樹脂組成物。

【化 1】



(ここで、R は、水素原子、あるいは炭素数 1 ~ 20 までの炭化水素基から選ばれ、R は全て同一でも複数の基で構成されていても良い。Q は、炭素数 1 ~ 20 までの炭化水素基から選ばれる。)

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 7 】

すなわち本発明は、

1 . ( a ) ポリフェニレンエーテル系樹脂 3 0 ~ 9 9 重量部と、( b ) 液晶ポリエステル 7 0 ~ 1 重量部とからなる樹脂成分 1 0 0 重量部に対して、( c ) メラミン誘導体 0 . 1 ~ 1 0 重量部を配合することにより得られるポリフェニレンエーテル系樹脂組成物、

2 . メラミン誘導体が以下の式 ( 1 ) の構造を有することを特徴とする上記 1 に記載の樹脂組成物、

である。